平成２１年　２月１７日
東北地方整備局
仙台港湾空港技術調査事務所

東北地方太平洋沿岸のＧＰＳ波浪計の設置について

東北地方整備局では、平成２１年２月２２日から随時、東北地方太平洋沿岸に２基のＧＰＳ波浪計の設置を予定しております。

記

●ＧＰＳ波浪計設置について

施設名称	設置予定日	出航予定港
岩手県北部沖GPS波浪計	平成21年2月22日(日)	久慈港
福島県沖GPS波浪計	平成21年2月27日(金)	小名浜港

※設置日程については、気象海象状況により変更の可能性があります。
※出航予定港からは、設置予定日前日の午前に出航を予定しています。
※現地での取材の際は、事前に下記問い合わせ先までご連絡願います。

●ＧＰＳ波浪計は、ＧＰＳ衛星を用いて沖合に浮かべたブイの上下変動を計測し、波浪や潮汐等の海面変動をリアルタイムで観測するものです。

●ＧＰＳ波浪計での観測情報は、港湾整備に必要な波浪情報を取得するとともに、地震発生時には津波の観測も可能であり、気象庁等関連機関と連携することにより、沿岸域での迅速な津波災害対策にも活用することができます。

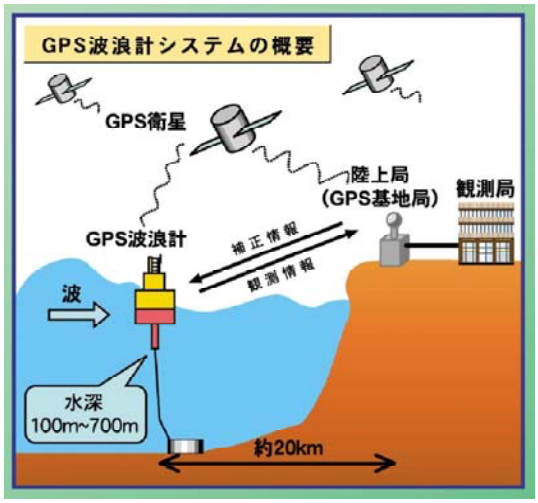
●ＧＰＳ波浪計を設置した後、データ精査等の試験運用を行い、平成２１年度中には本格的な運用を開始する予定です。

＜参考＞
国土交通省港湾局では、平成18年度よりＧＰＳ波浪計による沖合波浪観測体制の整備を進めており、現在のところ東北地方に５基、静岡県沖、三重県沖、和歌山県沖、高知県西部沖に各１基を設置しています。今年度は東北地方にて２基（岩手県北部沖、福島県沖）の設置を予定しております。

＜発表記者会＞
岩手県政記者クラブ、久慈記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、
東北専門記者会、いわき記者クラブ、いわき記者会

問い合わせ先
国土交通省　東北地方整備局　仙台港湾空港技術調査事務所
電話　０２２－７９１－２１１６

調　査　課　長　東山（ひがしやま）　安　彦
調査課環境技術係長　工藤（くどう）　雅　春



▲ＧＰＳ波浪計システムの概要



▲ＧＰＳ波浪計製作状況（H21.2.3現在）



・「岩手県北部沖GPS波浪計」設置箇所
北緯40° 07′ 00″　東経142° 04′ 00″
久慈沖約18km、水深約125m

・「福島県沖GPS波浪計」設置箇所
北緯36° 58′ 17″　東経141° 11′ 08″
小名浜沖約19km、水深約140m

▲ＧＰＳ波浪計設置位置